



1月30日5・6限

「職業人に学ぶ会」が開かれました

10の事業所から、お忙しい中、みなさんの学習に役立つようにと貴重なお話をしていただきました。自分の参加した講座は2つでしたが、せっかくお話をお聞きしたので、どんな様子だったかを交流するために、参加した人の感想を集めてみました。

警察官

東海警察署 交通課
木下 諭 さん



講座：警察官

警察官というと、何事も厳しくて怖いイメージがありましたが、木下さんのお話を聞いて僕の警察官に対するイメージが大きく変わりました。また、警察官になるためには警察学校に入らなければいけないと聞いて、僕は警察学校について放送されていたドラマを見たことがあり、警察学校の厳しさや辛さはある程度分かっていました。今回のお話で改めてその厳しさや辛さを知ることができました。木下さんのお話でさらに警察についての興味がわきました。

1組 金森 匠音

消防士

大府市消防本部
宮前 圭佑さん



講座：消防士

僕は、この職業はとてもこわいと思っていました。今回のお話を聞くと、やっぱり火の中に突入していき、いつも死が目の前に見えているという状況が分かりました。それでも火の中に入り、人を助けるという姿は、とてもカッコイイと思いました。でもただ火の中に入り助けたいという気持ちだけでは死ぬだけです。なので、日頃の訓練から気を引き締めてやるということを言われました。僕も、練習だからといって気を抜かず、一生懸命取り組みたいと思いました。

1組 北川 拳

講座：警察官

警察官の仕事はイメージとちがうなぁと思いました。私の警察官のイメージは、ドラマのように事件を完璧に解決するような人たちだと思っていたので、実際にはきれいに事件が解決しないときもあると聞いて、とても驚きました。警察官になるには「学力」や「体力」も必要だと思いましたが、一番大切なのは「勇気」だと思います。やっぱり犯人に立ち向かうのは簡単なことじゃないと思うのです。警察官は実際に立ち向かっているのですから、「勇気」がある人じゃないと無理なんじゃないかと思いました。

5組 小山 未歩

ありがとう
ございました

講座：消防士

今回のお話を聞いて、119番の1日の件数や1年におきた火災の件数などの実際にあった数を知って、とても驚きました。自分はまだ少し少ないと思っていました。また、大府市の消防署の日常やホース、消防車、救急車の数などを知ることができました。宮前さんのプライベートの話や消防学校の頃の話、新人だった頃の話も聞けて、こんなにきついことがあったから立派な消防士になれたんだなと思いました。そして、消防士に向いている人、将来に向けて何をすればいいかなどのアドバイスも教えてもらったので、とても貴重な体験になりました。

2組 池田 直哉

保育士

大府市立大府保育園
小田 香苗さん



講座：保育士

自分の調子が悪い時に、元気に笑顔でふるまったり、私たちの体調管理を私たちが知らないところでしてくれたり、その他にもいろいろ陰で頑張ってくれていた保育士の方たちがいるからこそ、私たちは毎日笑顔で楽しく過ごせたんだなと思いました。先生の笑顔の裏には、たくさんの努力があるということを知りました。先生が読み聞かせをしてくれて、とても懐かしい感じになったし、とても胸がほっこりしました。私は本を音読する時、感情を入れるのが恥ずかしくて棒読み口調になってしまうので、先生は本当にすごいと思います。先生と話したら笑顔になったので、私もそんな人になれるようがんばります。

7組 白波瀬 綾香

講座：保育士

保育士って忙しいんだろうなぁと思っていたら案の定、朝から晩まで小さい子のことを考えて大変なんだと知りました。でも小さい子の笑顔や日々の成長が頑張る力になることも知りました。記憶もないような時期にさえ、つくしてもらったことを知り、どれだけお世話になったかと思いました。命を預かっているから目を離さず体調管理をし、遊びでさえ、家でできないようなことや体全体を意識した遊びなどいろいろなことが考えられているんだなと思いました。いつも明るく楽しそうにしているので、小さい子たちも「仕事」と分からないのかもしれませんが、本当はいろいろ裏で苦労していたのかと思うと感謝を伝えたかったです。

4組 小間 彩可

講座：看護師

看護師になるには、国家試験を受けて、資格を取ることが必要だということが分かりました。また、看護師の仕事には夜勤があったり、医師のお手伝い、患者さんへのお手伝いなどと、人に関わる仕事だということも分かりました。人と心が通わせられるすてきな仕事です。「ありがとうございました」などと言ってもらえるやりがいのある仕事ということも分かりました。看護師さんは、生命の誕生から、人が最期を迎えるまで立ち会える特別な仕事だということも分かりました。看護師をする上で、仕事をやるときはやりがいをもったり、いつも感謝の気持ちをもったり、患者さんの気持ちを理解したり、患者さんに寄り添ってあげることが大切ではないかと思いました。また、職域が広いことも魅力の一つではないかと思いました。

4組 川崎 ねね

看護師

愛知県立桃陵高等学校
山内 一穂さん



講座：看護師

よく病院では見かけるのですが、学校や保育園でも働いていると聞いてびっくりしました。たくさんの人の生命と向き合いながら関わっている仕事なので、責任感をしっかりもってないといけないと思いました。看護師は、夜勤があって大変だと思っていたけれど、「ありがとう」などの言葉に助けられていると知って、少しほっとしました。今日のお話を聞いて、いろんな人と関わって成り立つものだと感じました。また、人と関わるため、コミュニケーション能力が必要だと思いました。今からしっかり人と話をして鍛えたいです。

4組 渡辺 乃愛

美容師
BUDDY HAIR
EXX
古沢 佳祐さん

講座：美容師

私は、今回お話を聞いて、何の仕事でも夢をもって自分の楽しいことを仕事にしたいと思いました。きっかけは人それぞれだけど、楽しそうだなと思ったことを仕事にできることは良いことだなと思いました。美容師さんの仕事は、ただ髪の毛を切るだけだと思っていましたが、最後の「ありがとう」や「また来るわ」などの言葉にうれしさを感じていたことに驚きました。古沢さんは休みの日も仕事のことを考えていて、私なら休みの日ぐらい忘れたいと思ってしまうので、その仕事を好きで考えている古沢さんがすごいなと思いました。

7組 横江 玖留美



講座：美容師

古沢さんは、お客さんの髪を切れるようになるのに十何人中のドベ2で切れるようになったとおっしゃっていましたが、それでもここまで続けてこれて店長になれているということはすごいと思いました。これを聞いて、本当に努力は必ず報われるんだなと改めて思いました。なので、この言葉を私にとって大切にする言葉にしようと思います。古沢さんが言っていた「諦めたらそこで試合終了」という言葉も大切にしたいと思います。

1組 鶴原 歩友

介護士
ディサービスくるみ
山下 康二さん

講座：介護士

今回の話を聞いて、お年寄りの方に接する時は、笑顔で、謙虚な気持ちで接することが大事だということを知りました。お年寄りの方や認知症の方と接するのは大変そうだけど、ディサービスでは、みんなで一緒に楽しむことが大事なんだと感じました。

私の祖母は家で訪問介護、訪問入浴、ディサービスにお世話になっていることもあって、介護の仕事には興味がありました。私は小さいうちから介護の仕事にふれている方だと思うので、将来は介護の仕事に就く道も考えていこうと思いました。

6組 神谷 唯花

講座：介護士

今、介護士という仕事は人材不足で、少子高齢化が進んでいることを知りました。また、老人ホームの種類がとてもあることにびっくりしました。国家資格で介護福祉士やケアマネジャーという仕事があることも知りました。介護している人の死がショックで辞めてしまう人もいることを知って、僕もおじいちゃんやおばあちゃんが死んでしまうと僕も悲しくなったりショックを受けたりするから、皆同じ気持ちになるので、介護士さんの気持ちが分かります。

6組 青山 裕翔



パティシエ

洋菓子チロリヤン
仲井 洋介さん

講座：パティシエ

いちばん印象に残ったのは、パティシエには二種類のタイプがいるということです。

(ナルシストタイプ：私の作ったケーキはおいしいから食べて！)
(尽くすタイプ：食べる人が喜んでくれるように考えよう！)

私は、だいたいの方が尽くすタイプの人だと思っていたので、ナルシストの方がいらっしゃるなんて驚きました。さらにそのナルシストの方が作ったケーキが女性にうけることにもっと驚きました。

パティシエになるのは簡単だけど、パティシエという仕事で食べていくのは大変ということ知ることができたので、この業界は甘くないんだなと思いました。

1組 彦坂 夏実



講座：パティシエ

だいたいの方は、高校から製菓専門学校に行って2年ぐらい勉強してから就職することを知りました。

私は、余ったケーキや失敗したケーキを捨てると聞いて「もったいないな」と思いました。でも失敗したものを売り、300円、400円でお客様の信頼を失うよりはいい、一度失った信頼は戻らないという理由を聞いて、全てお客様のために尽くしているのは、とてもかっこいいと思ったし素晴らしいと思い、納得しました。捨てるだけでなく、成功したケーキや、逆にカビのはえたケーキも食べてみて次に生かすということにも驚きました。

また、注文しすぎたいちごなどはジャムにしたり、ムースにしたりするなど、たくさん工夫していてとてもすごいと思いました。

8組 山田 葵彩

講座：環境事業

僕たちが普段食べているものが電気になっていると聞いたときは、すごく驚きました。メタンガスやメタン菌などとても不思議で面白い話でした。特にメタンガスによる発電にはとても興味がわきました。沼地のそこにいるメタン菌についても調べてみたくなりました。いつもゴミ収集車でゴミを運んでいだけかと思いきや、その他にも様々な環境への取り組みをしていることにすごいなと思いました。

4組 山本 晁雅

環境事業（ごみ処理）
(株)オオブユニティ
山口 貴大さん



建設業

(株)花井組
花井 建太さん・小谷 健児さん

講座：建設業

インフラ（基盤、下部構造）の寿命について、問題があるが直さない、直すことができないものでも40年はもつと聞いていましたが、それを過ぎては直さなかったりして、外国のアメリカやイギリスでは橋が壊れ、死者が出たと聞いて恐怖を感じました。なぜ直さないのだろうと疑問をもちましたが、原因を知ると、「確かにどうしようもできないし、110万社もつぶれてしまうなんて…今後に受け継ぐ私たちの世代がどうにかできる問題かな」と心配になった一面もありました。

4組 林田 七海

講座：建設業

講演を聴いて、初めて建設業の仕事を知ることができました。建設の仕事は大まかに二つに分れていて、一つは土木、もう一つは建築です。その中でも私は土木の方が気になりました。なぜなら建築をするためには土木ができていないとできないからです。また、私の中では建設イコール建築と思っていたからです。

お話を聞いて、自分たちの時代は、ちゃんと自分たちで作り守ることが必要だということ、社会人になってもチームプレイは大切だということ、いろんな仕事があるからこそ、世の中が成り立っているということなどを知ることができました。

5組 林 真帆

講座：環境事業

今まで自分がゴミを出した後のことをあまり考えた事がなかったけれど、お話を聞いてゴミを出した後にもいろんな人が関わっているということを知りました。自分の住んでいる近くにゴミから発電するというすごい技術をもった工場があることも知って、この仕事をとても身近に感じることができました。

私たちの生活にはたくさんの方が関わっていて快適な生活ができていてということを感じられたので、自分も社会を支えられる仕事ができたらいいなと思いました。

5組 大島 れみな

飲食業

(株)丸岩産業(麺家 神明)
岩切 博隆さん



講座：飲食業

お客さんや従業員のことを第一に考えているというお話を聞いて、すごいなと感じました。

火事でお店がなくなってしまったことがあったのに、新しいお店ができたときに並んでくれた大府・東浦のお客さんの気持ちに感動しました。「自分が信じた味が隠し味」という答えがかっこいいなと思いました。失敗を恐れずにチャレンジすることが大切というお話を聞いて、チャレンジできる人になりたいと思いました。

2組 伴 実桜

講座：飲食業

僕は、競争の激しいラーメン業界で闘うのも、そう簡単なことではないと思いました。でも岩切さんはそこを勝ち抜いたということに改めてラーメン屋さんの苦労や努力、そしてすごさが分かりました。

僕は、この講演を聞いて、どの業界にしても諦めない心が大切だと思うようになりました。めげずに続けていけば、いつか必ず成功するということを確信しました。未来の自分の役に立つように今回のお話を生かしていきたいです。

1組 小川 文之介

